



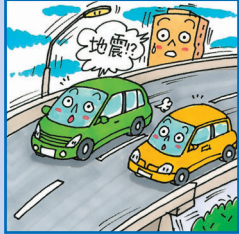
緊急輸送用道路における橋梁震災対策率

防災対策として 橋梁震災対策を 実施します

現況



目標



昨年度の
成果

平成18年度は、関係機関との調整が遅れたことにより計画通りに実施できませんでした。

代表的な事業	評価	事業の説明
一般国道2号 平野橋(上下)	😊	橋脚補強(炭素繊維巻立て)
一般国道2号 臥竜橋	😊	橋脚補強(コンクリート巻立て)、落橋防止装置
一般国道54号 新可愛川橋	😊	落橋防止装置
(主) 広島三次線 新高大地橋	😊	落橋防止装置
中国自動車道 東城池橋(上下)	😊	橋脚補強(コンクリート巻立て)

今年度の
取り組み

平成19年度も引き続き「緊急輸送道路※12の橋梁耐震補強3箇年プログラム」として第1次緊急輸送道路(都道府県等管理道路については優先確保ルート)にある橋梁の耐震補強を実施し、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、今年度中におおむね完了するよう対策を推進します。

代表的な事業	事業の説明
一般国道2号 海田高架橋(上下)	落橋防止装置
一般国道2号 神島橋(上下)	橋脚補強(コンクリート巻立て)、落橋防止装置
一般国道54号 明神橋	橋脚補強(炭素繊維巻立て)、落橋防止装置
一般国道487号 音戸大橋(本線)	落橋防止装置
中国自動車道 本村川橋(上下)	橋脚補強(コンクリート巻立て)

橋梁震災対策率の指標

目標値と実績値

H15 基準実績

22.2%

H18

未達成

目標 32.6%

実績 32.5%

H19 目標

34.4%

昨年度の達成度

臥竜橋(一般国道2号) 😊



目的 古い設計基準の橋梁の耐震補強。

対策 橋脚補強及び落橋防止装置設置により、地震時の橋脚の倒壊及び橋げた落下を防ぎます。



Check! 緊急輸送道路の橋梁耐震補強 3箇年プログラム

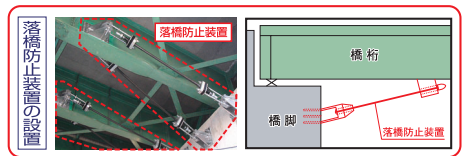
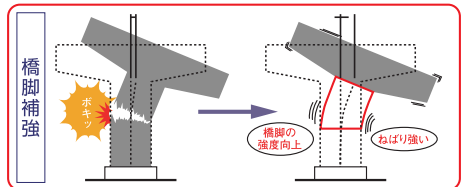
緊急輸送道路のうち、平成7年の阪神・淡路大震災等での橋梁の被災実態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、平成19年度までに概ね完了するよう対策を実施します。

目的

落橋などの甚大な被害を防止し、緊急輸送道路としての機能確保を図ります。

対策

阪神・淡路大震災クラスの地震に対しても橋梁の損傷を限定的なものにとどめるよう、橋脚補強・落橋防止装置の設置を行います。



平成19年度の取り組み

音戸大橋(一般国道487号)



目的 古い設計基準の橋梁の耐震補強。

対策 落橋防止装置の設置により、阪神・淡路大震災クラスの地震に耐えられる構造にします。

